

# 橋本市長期総合計画策定方針

## 団体意向調査



hashimoto

平成 28 年

橋本市

## 基本施策別各種団体表

基本目表	基本施策	H 2 4	H 2 8	頁	団体
基本目標1	(1) 地域コミュニティを再生する	○	○	3	橋本市区長連合会
	(2) 市民活動を普及する		○	4	橋本市ボランティアサークル連絡協議会
	(3) 多彩な交流・連携を推進する				
基本目標2	(1) 地域福祉を総合的に推進する	○	○	5	橋本市民生委員・児童委員協議会
	(2) 子育て環境を整備する	○	○	6	橋本市母子保健推進委員会
	(3) 高齢者・障がい者福祉を充実する	○	○	7	橋本市シルバー人材センター
		○	○	8	橋本市老人クラブ連合会
		○	○	9	橋本市身体障がい者連盟
	(4) 保健・医療体制を確立する	○	○	10	橋本市社会福祉協議会
	(5) 社会保障を充実する	○	○	11	橋本市社会福祉協議会
	(6) 生活の安全を確保する	○	○	12	橋本市交通指導員会
		○	○	13	橋本市更生保護女性会
○		○	14	橋本市地域安全推進員会	
基本目標3	(1) 循環型社会を形成する				
	(2) 秩序ある土地利用を推進する				
	(3) 道路・交通体系、情報基盤を整備する				
	(4) 生活環境の質を高める				
	(5) 安全なまちづくりを推進する	○	○	15	橋本市民生委員・児童委員協議会
		○	○	16	橋本市自主防災組織連絡協議会
○		○	17	橋本市社会福祉協議会	
基本目標4	(1) 付加価値の高い農林業を創造する	○	○	18	紀北川上農業協同組合
		○	○	19	森林組合こうや
			○	21	農業経営改善推進会議
			○	22	猟友会橋本総合分会
			○	23	猟友会高野口総合分会
	(2) 製造業の活性化を展開する	○	○	24	橋本商工会議所
		○	○	27	高野口町商工会
	(3) 商業をまちづくりとともに活性化させる	○	○	28	高野口町商工会
		○			橋本市観光協会
(4) 観光・交流基盤を確立する	○	○	29	橋本市観光協会	
(5) 就業と仕事づくりを促進する					
基本目標5	(1) 豊かな心を育む学校教育を促進する☑				
	(2) 生涯学習社会を形成する☑	○	○	30	橋本市スポーツ少年団
		○	○	31	橋本市子ども会連絡会
			○	32	橋本市青年指導員連絡会
			○	33	橋本市家庭教育支援チームヘスティア
		○	34	橋本市青少年団体連絡協議会	
	(3) 文化・芸術を振興する				
	(4) 人権尊重の社会を実現する	○	○	35	橋本市人権啓発推進連絡協議会
(5) 男女共同参画の社会を実現する	○	○	36	橋本市女性会議	

※団体名は平成 28 年時の団体名とする

## 1. 調査の目的

各種団体意向調査は、「橋本市第2次総合計画」策定のための基礎資料とすることを目的として、橋本市で活動する団体等を対象に、団体が抱える問題点と課題や解決に向けた取組意向について調査するものです。

## 2. 調査の対象

本調査の対象とする団体は、原則として前回策定時に調査を行った団体を対象とする。関係部局において、所管する団体のうち、基本計画を策定する上で関連の深い団体も追加して行うものとする。

団体名	
橋本市区長連合会	橋本市ボランティアサークル連絡協議会
橋本市民生委員・児童委員協議会	橋本市母子保健推進委員会
橋本市シルバー人材センター	橋本市老人クラブ連合会
橋本市身体障がい者連盟	橋本市社会福祉協議会
橋本市交通指導員会	橋本市更生保護女性会
橋本市地域安全推進委員会	橋本市自主防災組織連絡協議会
紀北川上農業協同組合	森林組合こうや
農業経営改善推進会議	猟友会橋本総合分会
猟友会高野口総合分会	橋本商工会議所
高野口町商工会	橋本市観光協会
橋本市スポーツ少年団	橋本市子ども会連絡会
橋本市青年指導員連絡会	橋本市家庭教育支援チームヘスティア
橋本市青少年団体連絡協議会	橋本市人権啓発推進連絡協議会
橋本市女性会議	

## 3. 調査概要

### ①調査方法

調査表により各団体に回答を依頼し、意向を取りまとめる。(調査表によるアンケート形式)

### ②調査日

平成28年9月中旬～9月下旬

### ③調査主体

橋本市

### ④調査項目

■テーマ「各種団体等が抱える問題点及び課題と解決に向けた取組みについて」

ア. 前回の回答内容について情報提供

イ. 各種団体等が抱える問題点・課題

ウ. 問題点・課題の解決に向けた取組み方針について、

「団体等でできること」「行政に期待すること」「協働して取り組むこと」

基本目標	第1章 市民の力が活きるまちづくり
(基本施策)	(第1節 地域コミュニティを再生する)

団体名	橋本市区長連合会
-----	----------

項目		平成24年回答	平成28年回答
団体等が抱える問題点と課題		<p>①一般市民の区(自治会)の加入率の低下が問題点であり、課題としては区(自治会)への加入してもらうための働きかけの促進</p> <p>②上記について市民が区に入らない場合と、区はあるが、区自体が区長連合会に入らない場合等もあり、加入を促進する。</p>	<p>区・自治会への加入率が低下する傾向にあるため、区・自治会への加入について、いかに促進していくかが、課題である。</p> <p>また、連合会に未加入の区・自治会もあるため連合会加入についても促進する必要がある。</p>
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるこ	<p>①転入してきた区民に対して区加入の推進を図ることを徹底する。また、区長連合会だよりを発行し、区への未加入者について連合会として加入促進を進める。また、区長連合会に未加入の区へ連合会への加入を促進する。</p> <p>②回答無し</p>	<p>転入してきた住民に対して区・自治会加入推進の徹底。</p> <p>また、年1回橋本市区長連合会だよりを発行し、区・自治会への未加入者について連合会として加入促進を図る。また、区長連合会に未加入の区・自治会へ連合会への加入を促進する。</p>
	行政に期待すること	<p>①転入時に市窓口で転入者に自治会加入勧誘の書類を渡す。また、開発業者に対して住宅購入者に対して各区・自治会に加入するよう働きかけて貰えるようお願いする。</p> <p>②市職員に関しては地域の行事に積極的に参加すること。</p>	<p>転入時に市窓口で自治会加入勧誘チラシの配布。また、開発業者に対して住宅購入者に対して各区・自治会に加入するよう働きかけて貰えるようお願いする。</p> <p>市職員に関しては地域の行事に積極的に参加すること。</p>
	協働して取り組むこと	<p>①区長理事会を通じて各区長に情報を提供する。各区民(区長)とコミュニケーションの充実を図る。</p> <p>②上記について災害時(緊急時)のコミュニケーション、通学の安全確保等を進める。</p>	<p>区長理事会を通じて各区長に情報を提供し、各区民(区長)とコミュニケーションの充実を図る。</p>

基本目標	第1章 市民の力が活きるまちづくり
(基本施策)	(第2節 市民活動を普及する)

団体名	橋本市ボランティアサークル連絡協議会
-----	--------------------

項目		平成 24 年回答	平成 28 年回答
団体等が抱える 問題点と課題			登録団体の減少
問題点・課題の 解決に向けた 取り組み内容	団体等 でできる こと		ボランティア体験フェアを開催して、市民のみなさんにボランティアにふれて・学んで・楽しんでいただき、ボランティア活動を始めようとする根を探す。
	行政に 期待する こと		市や行政とボランティア団体が二人三脚で歩んでいける体制づくりを整備していただきたい。
	協働して 取り組む こと		ボランティア活動の認知度を高めていくために、いろいろなところに情報発信をしていく。

基本目標	第2章 健やかで安心して暮らせるまちづくり
(基本施策)	(第1節 地域福祉を総合的に推進する)

団体名	橋本市民生委員・児童委員協議会
-----	-----------------

項目		平成24年回答	平成28年回答
団体等が抱える問題点と課題		住民同士のつながりの希薄化が進む中で、児童・障がい者・高齢者への虐待等、深刻な課題を抱える家庭等の早期発見。	住民同士のつながりの希薄化が進む中、児童、障がい者、高齢者への虐待や生活困窮等を含め複雑な生活課題を抱える家庭が増加し、またその見えづらさから早期発見が難しい。また課題の複雑さから、民生委員児童委員自身の知識や経験の積み重ねが重要となる。
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるこ と	訪問等により安心して暮らしていけるように、相談にのったり、色々な福祉サービスを照会したり、必要に応じ関係機関との調整役につとめる。	普段の何気ない見守りや訪問等による細やかな見守りの中で話し相手や相談にのるなど。また、必要に応じて関係機関につなげる役目を担う。
	行政に期待すること	かなり増えたが、子育て支援施設、高齢者の交流場所の増設。	情報提供。(個人情報提供を含め、民生委員児童委員に必要な研修、開催等の情報提供)
	協働して取り組むこと	施設を行政が提供し、民生委員児童委員、母子推進委員、地域の住民、NPO等が手伝いしていく。	自治体など地縁団体、NPOなどの機能的な団体が個々に活動するだけでなく、協力し合ったり、情報共有しながら地域住民と共に個人や団体の力量を出し合えるネットワークづくり。

基本目標	第2章 健やかで安心して暮らせるまちづくり
(基本施策)	(第2節 子育て環境を整備する)

団体名	橋本市母子保健推進委員会
-----	--------------

項目	平成24年回答	平成28年回答
団体等が抱える問題点と課題	<p>地域の間人間関係が希薄になる中で、どの世代の人達も孤立した傾向が強くなっている。もちろん子育て世代も例外ではなく、孤立した育児環境に陥りやすい。以前は新興住宅地を中心にその傾向が強かったが、近年は市内のどの地域でも同じ状況になってきており、子育てのむずかしさが顕著にみえてきている。このような状況は、虐待につながるリスクもあるため手だてが必要である。</p>	<p>地域の間人間関係が希薄になる中で、どの世代の人達も孤立した傾向が強くなっている。もちろん子育て世代も例外ではなく、孤立した育児環境に陥りやすい。以前は新興住宅地を中心にその傾向が強かったが、近年は市内のどの地域でも同じ状況になってきており、子育てのむずかしさが顕著にみえてきている。このような状況は、虐待につながるリスクもあるため手だてが必要である。</p>
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	<p>団体等のできるごと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・孤独な子育てを解消・支援するため、訪問活動を充実させたい。</li> <li>・これからの世代は体罰や、暴力のない子育てを提唱していくために、子育てに関する知識(虐待予防を含む)を習得するため、研修等で学習を深め、地域に広めていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・孤独な子育てを解消・支援するため、訪問活動を充実させたい。</li> <li>・これからの世代は体罰や、暴力のない子育てを提唱していくために、子育てに関する知識(虐待予防を含む)を習得するため、研修等で学習を深め、地域に広めていきたい。</li> </ul>
	<p>行政に期待すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師との連携をよりスムーズにしたい</li> <li>・子育て支援事業・サービスの充実</li> <li>・虐待パンフレットの作成</li> <li>・虐待の研修等の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師との連携をよりスムーズにしたい</li> <li>・子育て支援事業・サービスの充実</li> <li>・今回、子育て支援サイト『はぴもと』が開設されたと聞いている。訪問時により広く子育て中の保護者にお知らせしたいので、パンフレットの作成をお願いしたい</li> <li>・虐待パンフレットの作成</li> <li>・虐待の研修等の充実</li> </ul>
	<p>協働して取り組むこと</p>	<p>訪問等日頃の母子保健推進員活動を通して、地域の親子と行政とのパイプ役となり、必要な時には行政と協力して育児を支援する。</p>

基本目標	第2章 健やかで安心して暮らせるまちづくり
(基本施策)	(第3節 高齢者・障がい者福祉を充実する)

団体名	橋本市シルバー人材センター
-----	---------------

項目		平成24年回答	平成28年回答
団体等が抱える問題点と課題		会員の登録が減少しており、会員の高齢化に伴い、業務内容により（剪定業務等）技術の継承が困難となっている。	会員の高齢化に伴い、業務内容により技術の継承や未就業会員への就業機会の提供が困難となってきている。
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるごと	技術講習会の開催及び、会員の増員を求める広報活動。	<ul style="list-style-type: none"> <li>センターのホームページに就業分野の案内、会員募集の案内を掲載。</li> <li>シルバー事業が認識、理解されるようチラシ、パンフレットの配布。</li> </ul>
	行政に期待すること	高齢者の就業機会を確保する観点から、市における業務でシルバーで可能な仕事はできるだけ発注願いたい。	高齢者の就業機会を確保する観点から現在発注していただいている業務と、新たにシルバー派遣事業業務の発注も願いたい。
	協働して取り組むこと	会員確保・講習会等開催などを、市民に啓発を行い、会員の増加を図る。	会員確保・講習会等開催などを、市民に啓発を行い、会員の増加を図る。

基本目標	第2章 健やかで安心して暮らせるまちづくり
(基本施策)	(第3節 高齢者・障がい者福祉を充実する)

団体名	橋本市老人クラブ連合会
-----	-------------

項目		平成 24 年回答	平成 28 年回答
団体等が抱える問題点と課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>①心身の健康保持と介護予防活動の推進。</li> <li>②若手リーダーの育成強化及び、老人クラブ未加入者への対策。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①会員の高齢化による組織づくりと維持。</li> <li>②若手会員のリーダー育成、後継者づくり。</li> <li>③介護予防の推進。</li> <li>④会員増強。</li> </ul>
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるこ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各地域で実施している、元気らりー教室や認知症予防教室への参加。</li> <li>②入会を促すため、魅力あるものとするため、事業メニューを増やす取組み。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「地域ふれあいサロン」の運営・関わり。</li> <li>②地域団体主催事業への積極的参加。</li> <li>③地域老人クラブ主催事業のPR。</li> </ul>
	行政に期待するこ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各地域での教室の充実強化。</li> <li>②リーダー研修会開催に伴う講義内容及び講師等の相談業務。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①高齢者に関する情報の提供。</li> <li>②各地域への「地域ふれあいサロン」の充実、強化。</li> <li>③介護予防活動の各地域への充実、講師派遣。</li> </ul>
	協働して取り組むこ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>①介護予防に関する教室等への参加を促す取組み。</li> <li>②一般の研修会及びリーダー研修会の開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各地域団体等の主催事業への積極的な参加。</li> <li>②若手高齢者の育成。後継者づくり。</li> <li>③研修会及び地域高齢者リーダーの研修、育成。</li> </ul>

基本目標	第2章 健やかで安心して暮らせるまちづくり
(基本施策)	(第3節 高齢者・障がい者福祉を充実する)

団体名	橋本市身体障がい者連盟
-----	-------------

項目		平成24年回答	平成28年回答
団体等が抱える問題点と課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>①団体自体の高齢化、会員数の減少</li> <li>②健常者等との交流</li> <li>③身体障がい者にやさしい公共施設の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①団体の高齢化、会員数の減少</li> <li>②健常者等との交流</li> <li>③障がい者にやさしい公共施設の整備・改修</li> <li>④障害者差別解消法の普及啓発</li> <li>⑤手話言語条例の制定に向けた取り組み</li> </ul>
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるこ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>①団体の活性化が必要。ビラ配り、広報をして会員数の確保。</li> <li>②イベント情報の収集・報告。</li> <li>③意見提供。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①団体の活性化、ビラ配り、広報等による会員数の確保</li> <li>②イベント等の情報周知・収集・報告</li> <li>③障がい者との意見交換と情報共有</li> </ul>
	行政に期待するこ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>①団体の活動や活性化のため、一定の補助金を確保して欲しい。</li> <li>②イベント情報の発信。</li> <li>③公共施設の設計段階から意見を聴く場の提供。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①団体活動の活性化のため、一定の補助金の確保</li> <li>②イベント等の情報発信</li> <li>③公共事業等の設計段階から意見聴取</li> <li>④法改正等の広報・普及・啓発</li> </ul>
	協働して取り組むこ と	回答無し	<ul style="list-style-type: none"> <li>①市が開催する各種イベント等に参加し、健常者に対して、障がい者活動等の理解をしてもらえるよう取り組む</li> </ul>

基本目標	第2章 健やかで安心して暮らせるまちづくり
(基本施策)	(第4節 保健・医療体制を確立する)

団体名	橋本市社会福祉協議会
-----	------------

項目		平成24年回答	平成28年回答
団体等が抱える問題点と課題		①保健福祉センターに事務所移転。新たな拠点へ。 ②救急医療情報キット「あんしんカプセル」配布事業。(本年度からの新たな取り組みとして)	①介護事業所の事務所移転問題。建物の老朽化により、2階建ての1階の雨漏りがひどい。
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるこ と	①保健福祉センターに移転。 ②「あんしんカプセル」の配布事業。	①介護事業所の移転先の確保
	行政に期待するこ と	①健康福祉部との連携がより一層スムーズにできる。 ②回答無し	①市保有物件の提供または、法人事務所内(橋本市保健福祉センター内)に移転了解。
	協働して取り組むこ と	①地域の生活課題や個人の生活問題の解決。 ②回答無し	①介護職員が同室することにより、介護問題を抱えた地域の生活課題や個人の生活問題の解決ができる。

基本目標	第2章 健やかで安心して暮らせるまちづくり
(基本施策)	(第5節 社会保障を充実する)

団体名	橋本市社会福祉協議会
-----	------------

項目		平成24年回答	平成28年回答
団体等が抱える問題点と課題		①橋本市ボランティア登録支援。 ②生活保護や貸付制度のいずれにも該当しない世帯への支援。	①橋本市ボランティア登録支援。 ②生活保護や貸付制度のいずれにも該当しない世帯への支援。
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるこ と	①ボランティア活動保険加入の事務。 ②他制度の情報提供、中間的な就労の場の提供。	①ボランティア活動保険加入の事務。 ②他制度の情報提供、中間的な就労の場の提供。
	行政に期待するこ と	①継続してボランティア活動の負担をしていただきたい。対象年齢の引き下げをお願いしたい。現行16歳以上(高等、各種学校)となっていますが、13歳以上(中学、高等、各種学校)を対象としていただきたい。 ②福祉課のケースワーカーや就労支援員さんと連携を強めて参りたい。	①継続してボランティア活動の負担をしていただきたい。対象年齢の引き下げをお願いしたい。現行16歳以上(高等、各種学校)となっていますが、13歳以上(中学、高等、各種学校)を対象としていただきたい。 ②福祉課のケースワーカーや就労支援員さんと連携を強めて参りたい。
	協働して取り組むこ と	①回答無し ②現状の生活福祉資金の有効活用に努める。	①回答無し ②現状の生活福祉資金の有効活用に努める。

基本目標	第2章 健やかで安心して暮らせるまちづくり
(基本施策)	(第6節 生活の安全を確保する)

団体名	橋本市交通指導員会
-----	-----------

項目		平成24年回答	平成28年回答
団体等が抱える問題点と課題		<p>①高齢化となり若い人へ交代することも必要である。 又、若い人の底上げも必要である。</p> <p>②各地区の会議の場において、交通安全意識を高めるため指導員による交通安全教室の開催が必要である。</p> <p>③中学校でも年間の授業の中で交通指導教養する時間を入れることが必要である。</p>	<p>当会定員80人以内のところ、現会員が54人となっており、会員減少が問題。会員への出動要請等は増加傾向であり、現会員1人当たりの活動負担増が問題。現会員は高齢化しており、若い世代への交代と会員増を促進する必要がある。</p>
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるごと	<p>①先輩方からの指導が必要。</p> <p>②各会議において率先して交通安全教室を行うことが必要である。</p> <p>③回答無し</p>	<p>当会員同士のネットワークを利用して、会員増を図る。当会員同士の連携を深め、活動負担増に対して、互いに連携したやりくりで出動要請等の増加に対応。先輩会員から後輩会員への伝承指導、及び指導の講習を受講することで、世代交代を図る。</p>
	行政に期待すること	<p>①人選について、区長に理解を得、協力を求めることが必要。 指導員の教養の場を考える。</p> <p>②回答無し</p> <p>③教育委員会に協力要請を求める。</p>	<p>会員増に向け、各区・自治会への働きかけを強化してもらえよう願います。交通安全思想の普及・交通道德の高揚を図る、及び違法駐車等の防止広報施策等の実施は、市の責務であることを市職員が認識し、市職員が積極的に活動すること。</p>
	協働して取り組むこと	<p>①回答無し</p> <p>②回答無し</p> <p>③回答無し</p>	<p>橋本市交通指導員会理事会及び同会事務局（橋本市総務部総務課）を通じて、会員（橋本市交通指導員）とのコミュニケーションの充実を図る。</p>

基本目標	第2章 健やかで安心して暮らせるまちづくり
(基本施策)	(第6節 生活の安全を確保する)

団体名	橋本市更生保護女性会
-----	------------

項目	平成24年回答	平成28年回答	
団体等が抱える問題点と課題	<p>①会員の高齢化に伴い、活動できる人が少なくなってきた。</p> <p>②会員でありながら活動に結びつかないジレンマを抱えている人もいる。会員全体が身近なところで継続的に活動できるネットワーク拡充が必要。</p>	<p>会員の高齢化に伴い活動出来る会員が少なくなっている</p> <p>行政、地域との連携と活動の場が多くなって来た。会員の集まれる場所がなく、自由に使える場所が希望</p> <p>和刑バザー、他 活動の基点地がある事を希望</p>	
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	<p>団体等のできるこ</p> <p>と</p>	<p>①小・中・高校、まつり会場での啓発物資配布活動を通じて、会活動をPRし、新入会員の獲得に勤める</p> <p>②小・中・幼稚園・学童保育などでお手伝いしながら、子ども達を見守り、非行防止啓発につなげたい。</p>	<p>小・中学校へ学習補助として活動</p> <p>市のイベント、啓発運動、社明運動</p> <p>小学生宿泊学習の手伝い</p> <p>学校祭でのふるさと遊び、行事等伝えたい</p> <p>行事の伝達手伝い</p>
	<p>行政に期待すること</p>	<p>①市補助金の倍増。</p> <p>②団体、サークルなどの情報をいただきたい。</p>	<p>市補助金多いにこした事はないが、今出来る更女会員として活動する事が行政、地域との連携だと感じています。その活動の基点地として定着する場所一部屋がほしいと感じます。全員希望</p>
	<p>協働して取り組むこと</p>	<p>①回答無し</p> <p>②地域における「絆」を拡充していく。</p>	<p>更女保護女性会が行政、地域社会との連携へと活動を定着すること</p> <p>更女会員として参加出来る事を活動源としていく事。</p>

基本目標	第2章 健やかで安心して暮らせるまちづくり
(基本施策)	(第6節 生活の安全を確保する)

団体名	橋本市地域安全推進委員会
-----	--------------

項目		平成 24 年回答	平成 28 年回答
団体等が抱える問題点と課題		①本会の位置づけの明確化、警察との連携強化が必要である。 ②青色回転灯登録者の効果的な運用が必要である。 ③地域安全等に活動している団体との連携及び協力が必要である。	本会員は、各区・自治会長の充職の会員が多数あり、当会の任期に関係なく、年度毎に多数の会員が交代されるのが問題。 本会の青色回転灯装備車（青パト）は、現行26台で、治安維持のため効果的な運用と台数の増加が課題である。
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるごと	①啓発活動等を通じてのPR及び警察活動の協力体制の保持。 ②回答無し ③各地区での地域安全活動関係団体との連携。	充職の現会員に、当会活動に対する理解を深めてもらい、充職後も当会員として、継続的な活動をしてもらえるよう徹底。 現会員同士のネットワークを利用して、情報交換をすることで、効果的な青パトの運用と青パトの台数増加を促進する。
	行政に期待すること	①同会の会員情報を警察へ提供。 ②青色回転灯登録車両（青パト）の活動のPR、警察機関とも連携した青パトの活用。 ③関係機関への同会のPR及び連絡体制の保持。	橋本市生活安全条例にある市の責務を市職員が再認識するとともに、当会活動を促進し、当会任期の理解を深めるべく、各区・自治会長に必要な協力を働きかけるようお願いする。市職員に関しては地域安全活動に積極的に参加すること。
	協働して取り組むこと	①回答無し ②青色回転灯の活動の強化。 ③回答無し	橋本市地域安全推進委員会役員会及び同会事務局（橋本市総務部総務課）を通じて、会員（橋本市地域安全推進員）とのコミュニケーションを図る。

基本目標	第3章 豊かな自然と共生する均衡あるまちづくり
(基本施策)	(第5節 安全なまちづくりを推進する)

団体名	橋本市民生委員・児童委員協議会
-----	-----------------

項目		平成24年回答	平成28年回答
団体等が抱える問題点と課題		災害等に対応するため一人暮らしの高齢者や障がい者などの要援護者の把握。	支援を必要とする高齢者や障がい者等の把握だけでなく、災害時における民生委員児童委員として具体的にできる手助けを平時から考え整理する。 災害時に情報を正確に把握し、いかに要援護者に伝えるかという知識や訓練。
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるこ と	訪問(声かけ)を実施し、委員同士で情報を共有すること。	災害等に対応するため日頃からの訪問や声かけを行い、災害時に必要な支援が届けられるよう、状況を把握する。 民生委員児童委員同士の情報共有。
	行政に期待すること	個人情報の開示。	個人情報の開示。 平常時から災害時に必要な知識を身につけるための教育や研修。
	協働して取り組むこと	地域で見守り、支え合い助け合えるコミュニティづくり。(現在個人情報開示の本人同意を得た要援護者3,000人(全体の1/3)に対し社協と共に安全安心カプセルを配布中)	住民を含め、様々な団体等と連携した支え合い、助け合いのできるコミュニティづくり。

基本目標	第3章 豊かな自然と共生する均衡あるまちづくり
(基本施策)	(第5節 安全なまちづくりを推進する)

団体名	橋本市自主防災組織連絡協議会
-----	----------------

項目		平成24年回答	平成28年回答
団体等が抱える問題点と課題		①防災意識の向上。組織は出来ているものの、活動が定着していない。 ②自主防災組織の結成率の向上。連絡協議会への加入率の向上。 ③補助金制度の充実	①防災意識の向上。組織は出来ているものの、活動が定着していない。 ②自主防災組織の結成率の向上。連絡協議会への加入率の向上。
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるこ と	①回答無し ②回答無し ③小規模の組織は、より大きな単位で立ち上げることにより、資機材等、有効利用できる。	①回答無し ②連絡協議会未加入団体に対し、加入の呼びかけの実施。
	行政に期待すること	①回答無し ②回答無し ③回答無し	①回答無し ②回答無し
	協働して取り組むこと	①自主防災組織、未結成の自治会に向けた学習会の開催。問題点などの意見交換を行う。 ②自主防災組織、未結成の自治会への働きかけ。具体的な活動の紹介などを行う。 ③回答無し	①自主防災組織、未結成の自治会に向けた学習会の開催。問題点などの意見交換を行う。 ②自主防災組織、未結成の自治会への働きかけ。具体的な活動の紹介などを行う。

基本目標	第3章 豊かな自然と共生する均衡あるまちづくり
(基本施策)	(第5節 安全なまちづくりを推進する)

団体名	橋本市社会福祉協議会
-----	------------

項目		平成 24 年回答	平成 28 年回答
団体等が抱える問題点と課題		①災害時のボランティアに関する受入態勢および支援体制。 ②災害弱者の把握並びに安否確認体制。	①災害時のボランティアに関する受入態勢および支援体制。 ②災害弱者の把握並びに安否確認体制。
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるこ と	①災害ボランティアセンターの運営、災害ボランティアの養成。 ②登録制度と社協調査が統一。	①災害ボランティアセンターの運営、災害ボランティアの養成。 ②登録制度と社協調査が統一。
	行政に期待するこ と	①センター設置場所の確保や電話回線の設置など。 ②データの共有などを通じて、より一層行政と連携を進める。	①センター設置場所の確保や電話回線の設置など。 ②データの共有などを通じて、より一層行政と連携を進める。
	協働して取り組むこ と	①災害ボランティアセンターの設置訓練。 ②回答無し	①災害ボランティアセンターの設置訓練。 ②回答無し

基本目標	第4章 活力ある産業を育成し若者が定住できるまちづくり
(基本施策)	(第1節 付加価値の高い農林業を創造する)

団体名	紀北川上農業協同組合
-----	------------

項目	平成24年回答	平成28年回答	
団体等が抱える問題点と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①農家の高齢化、農家の減少。</li> <li>②優良農地でさえ廃園化する懸念。</li> <li>③農産物販売額の低迷これに伴う後継者の不足。</li> <li>④柿生産に偏った農業経営が多く、所得が不安定であり、労働時間にも季節により偏りがある。</li> <li>⑤やっちゃん広場の売上減。</li> </ul>	<p>前回回答した問題点が依然存在している（「やっちゃん広場の売上」については工夫により若干改善されている。）</p>	
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるこ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>①営農、販売、資金が一体となった担い手作りへの取り組み。</li> <li>②農業塾開講などによる農家の育成農業経営を見据えた、農地の利用集積による廃園化の防止。</li> <li>③計画販売や売れる品目生産により、売向上をめざす。農産物加工品の研究。</li> <li>④他の果樹、野菜や花卉等との組み合わせによる農業経営を推進する。</li> <li>⑤営業日時間見直し品揃えの充実より、集客向上を図る。</li> </ul>	<p>前回の回答内容に加え、生産体制の整備に関する支援（主に組合員に対する情報提供やソフト事業による支援） ただし、前回については、裾野を広げるため、市等と協働で取り組むこととする。</p>
	行政に期待すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>①優良農地のきめ細かい選別と廃園化させない強い指導力。</li> <li>②JAと連携が取れた、生産から販売まで考慮した農地利用集積への取り組み。</li> <li>③回答無し</li> <li>④新規栽培品目導入等への支援制度の創出。</li> <li>⑤県内、近郊県外への店舗アピール。</li> </ul>	<p>前回の回答に加え、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手不足を補うための制度設計（就農支援や農福連携）</li> <li>・生産体制確立のための補助金制度の整備（ハード事業支援）</li> </ul>
	協働して取り組むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>①情報の共有と連携のもと、農業振興として有効な農地の利用集積への取り組み。</li> <li>②Iターン、退職者をターゲットとした就農者掘り起こし。</li> <li>③一体となったPR活動の展開（トップセールス等）。</li> <li>④回答無し</li> <li>⑤合同イベントの開催。</li> </ul>	<p>前回の回答に加え、農業塾開講等による農業従事者の育成支援</p>

基本目標	第4章 活力ある産業を育成し若者が定住できるまちづくり
(基本施策)	(第1節 付加価値の高い農林業を創造する)

団体名	森林組合こうや
-----	---------

項目		平成24年回答	平成28年回答
団体等が抱える問題点と課題		<p>①木材価格の下落による森林所有者の森林経営への意欲低下。</p> <p>②森林の境界が明確化されておらず、境界精通者も年々減少していくこと。</p> <p>③林業の担い手確保と技術の継承。</p> <p>④森林資源の有効活用と地域における森林・林業の在り方を検討する必要がある。</p>	<p>①木材価格の下落による森林所有者の森林経営への意欲低下。</p> <p>②森林の境界が明確化されておらず、境界精通者も年々減少していくこと。</p> <p>③林業の担い手確保と技術の継承。</p> <p>④森林資源の有効活用と地域における森林・林業の在り方を検討する必要がある。</p>
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるこ と	<p>①高性能林業機械を活用して生産性の向上に取り組むとともに、コスト分析の徹底による生産コスト及び流通コストの削減を継続していくこと。結果として、森林所有者への販売高に応じた利益還元を進めることで経営意欲を向上させる。</p> <p>②現在活用できる制度（森林整備交付金事業）等を利用して、積極的に境界明確化及び集約化を進めることはできるが、このままでは情報不足かつ森林情報が失われていく速度に追いつけないのが現状である。</p> <p>③積極的に森林技術員を採用し、担い手を確保していくことで地域に林業技術を継承していく。また、組合内部及び外部研修会等への参加し、各種技術力の向上も続けていく。</p> <p>④間伐材や林産物の販売及び開発を推進していくこと。さらに、バイオマス等のエネルギーとしての活用も検討し、森林資源をこれまで以上に有効活用する方法を模索する。 また、森林所有者との意見交換の場を増やしていくことで、地域にあった森林の在り方を追求していく。</p>	<p>①高性能林業機械を活用して生産性の向上に取り組むとともに、コスト分析の徹底による生産コスト及び流通コストの削減を継続していくこと。結果として、森林所有者への販売高に応じた利益還元を進めることで経営意欲を向上させる。</p> <p>②現在活用できる制度（森林整備交付金事業）等を利用して、積極的に境界明確化及び集約化を進めることはできるが、このままでは情報不足かつ森林情報が失われていく速度に追いつけないのが現状である。</p> <p>③積極的に森林技術員を採用し、担い手を確保していくことで地域に林業技術を継承していく。また、組合内部及び外部研修会等への参加し、各種技術力の向上も続けていく。</p> <p>④間伐材や林産物の販売及び開発を推進していくこと。さらに、バイオマス等のエネルギーとしての活用も検討し、森林資源をこれまで以上に有効活用する方法を模索する。 また、森林所有者との意見交換の場を増やしていくことで、地域にあった森林の在り方を追求していく。</p>
	行政に期待すること	<p>①橋本市で木材の集積地（中間土場）を確保して機能させることで、県内だけでなく奈良県及び大阪府方面への木材流通を促進する。さらに、流通コスト（土場への運搬及び市場への出荷等）に対する助成制度等があると流通の促進につなげていけるのではないかと考えられる。</p> <p>②地籍調査等を優先的に森林に向けて手遅れにならないよう取り組む。 また、現地立会や調査に組合も含めて頂けると集約化の推進をすることができる。 継続的に森林情報を収集できる体制を構築する。</p>	<p>①橋本市で木材の集積地（中間土場）を確保して機能させることで、県内だけでなく奈良県及び大阪府方面への木材流通を促進する。さらに、流通コスト（土場への運搬及び市場への出荷等）に対する助成制度等があると流通の促進につなげていけるのではないかと考えられる。</p> <p>②地籍調査等を優先的に森林に向けて手遅れにならないよう取り組む。 また、現地立会や調査に組合も含めて頂けると集約化の推進をすることができる。 継続的に森林情報を収集できる体制を構築する。</p>

		<p>③橋本市への人材定着はもちろん、IターンやUターンによる人口増が林業振興と合致できると効果的である。 市外に雇用を求めるのではなく林業で雇用が生み出せないか検討する。 森林組合は、年々事業量の確保が難しくなっているのが実情。市の事業等において森林組合が担えるものがないか検討する。</p> <p>④間伐材等の木材利用の積極的な促進（公共施設への木材利用等）。 また、市町村森林整備計画をより実効性のあるものとしていくため、毎年度見直ししながら進行させていき、地域に合った森林管理を行う。</p>	<p>③橋本市への人材定着はもちろん、IターンやUターンによる人口増が林業振興と合致できると効果的である。 市外に雇用を求めるのではなく林業で雇用が生み出せないか検討する。 森林組合は、年々事業量の確保が難しくなっているのが実情。市の事業等において森林組合が担えるものがないか検討する。</p> <p>④間伐材等の木材利用の積極的な促進（公共施設への木材利用等）。 また、市町村森林整備計画をより実効性のあるものとしていくため、毎年度見直ししながら進行させていき、地域に合った森林管理を行う。</p>
	協働して取り組むこと	<p>①森林所有者並びに地域住民に対して、森林経営への積極的参加を促す。 森林の持つ生物多様性等の公益的機能の重要性を再認識し、放置森林ゼロを目標に取り組むことで地域の防災にもつなげていく。</p> <p>②森林GIS等のツールを最大限活用し、地域森林データを随時更新する。 データ分析を行い、それぞれの役割を分担することにより、適正に森林を管理していく。</p> <p>③イベント等各機会を利用し、森林・林業に関心を持ってもらえるよう取り組む。 小中学校等での環境教育を積極的に実施する。 林家も含め、今後の後継者育成に対する方向性を検討する。</p> <p>④森林経営計画の策定を加速的に進める。 森林資源の有効活用をアピールする。 森林と共生し、環境に配慮した都市を形成できるよう取り組む。 森林資源による地域活性化ができないか継続的に検討する。</p>	<p>①森林所有者並びに地域住民に対して、森林経営への積極的参加を促す。 森林の持つ生物多様性等の公益的機能の重要性を再認識し、放置森林ゼロを目標に取り組むことで地域の防災にもつなげていく。</p> <p>②森林GIS等のツールを最大限活用し、地域森林データを随時更新する。 データ分析を行い、それぞれの役割を分担することにより、適正に森林を管理していく。</p> <p>③イベント等各機会を利用し、森林・林業に関心を持ってもらえるよう取り組む。 小中学校等での環境教育を積極的に実施する。 林家も含め、今後の後継者育成に対する方向性を検討する。</p> <p>④森林経営計画の策定を加速的に進める。 森林資源の有効活用をアピールする。 森林と共生し、環境に配慮した都市を形成できるよう取り組む。 森林資源による地域活性化ができないか継続的に検討する。</p>

基本目標	第4章 活力ある産業を育成し若者が定住できるまちづくり
(基本施策)	(第1節 付加価値の高い農林業を創造する)

団体名	農業経営改善推進会議
-----	------------

項目		平成 24 年回答	平成 28 年回答
団体等が抱える 問題点と課題			本会議は、地域農業の中心的な担い手である認定農業者および認定新規就農者になるための計画について審議している。高齢化社会による農業担い手の減少により、一人でも多くの認定農業者や認定新規就農者の認定が望まれるが、いわゆる「あめ」（補助事業）の活用のために計画認定を申請する方が多いですが、実現可能な計画でない方も多くいるため、徹底した指導が必要となっている。
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等 で できる こと		計画申請者の技術力および経営能力の判定。
	行政に 期 待する こと		農業者支援施策の構築および情報発信
	協働して 取 り組 む こと		農業人材の獲得のための体制を構築し、地域に定着させる取り組み

基本目標	第4章 活力ある産業を育成し若者が定住できるまちづくり
(基本施策)	(第1節 付加価値の高い農林業を創造する)

団体名	猟友会橋本総合分会
-----	-----------

項目		平成 24 年回答	平成 28 年回答
団体等が抱える 問題点と課題			<p>狩猟者の年齢が高齢化し、また狩猟者に対する理解が乏しい世代が増えてきた。</p> <p>また、イノシシや鹿などの獣害被害が人が住まう宅地の近くで発生することもあり、捕獲の依頼があってもなかなか捕獲できる環境にない土地に鳥獣が出没するようになった。</p> <p>銃所持者も激減している現状で団体として活動するには年々難しくなっている。</p>
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるこ と		<p>狩猟技術や狩猟鳥獣に対する知識などの継承。</p> <p>有害鳥獣捕獲の協力</p>
	行政に期待すること		<p>狩猟免許の取得及び維持には、それなりの費用が必要となる。</p> <p>できるだけ、現状の免許取得の支援や狩猟税の免除につながる実施隊員の組織体系を維持してほしい。</p>
	協働して取り組むこと		<p>狩猟免許所持者に対する狩猟講習会や有害鳥獣の捕獲支援</p>

基本目標	第4章 活力ある産業を育成し若者が定住できるまちづくり
(基本施策)	(第1節 付加価値の高い農林業を創造する)

団体名	猟友会高野口総合分会
-----	------------

項目		平成24年回答	平成28年回答
団体等が抱える問題点と課題			会員の高齢化に伴い、狩猟期の他、暑い夏期における有害駆除等、年間を通じた活動が体力的にも年々難しくなっている。若い活動できる会員が増えて欲しい。
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるこ と		狩猟に関する講習会等開催へ向けた働きかけ（単独では、難しいため。）や各種イベントへの参加の声掛け
	行政に期待するこ と		初心者が参加しやすいイベント等の開催と大々的な広報活動の実施（県を含めた）わな購入、狩猟税等の補助金や免税の継続
	協働して取り組むこ と		安全な狩猟講習 有害駆除での捕獲

基本目標	第4章 活力ある産業を育成し若者が定住できるまちづくり
(基本施策)	(第2節 製造業の活性化を展開する)

団体名	橋本商工会議所
-----	---------

項目	平成24年回答	平成28年回答
団体等が抱える 問題点と課題	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>橋本地域は古来より高野街道と大和(伊勢)街道の交差点であり、また紀の川の陸揚げ場でもあり、交通の要衝として多様な産業が発展してきたが、拠点となる施設がなく、地域ブランドの確立や観光入込客の誘致に効率的に結びつけられなかった。</li> <li>橋本は地域資源が多様小規模であり、また散在しているため、高野山観光等に向かう多くの観光客は通過するだけになっている。</li> <li>商品開発のみならず販売普及のための拠点整備の必要がある。</li> <li>橋本市は、自然環境に恵まれた風光明媚な観光資源を有しているが、観光振興は遅れており、将来の主要産業として育てるべく推進していかなければならない。</li> <li>観光事業は一定のエリア、地域が連携して観光ルートをPRするなど総合的に集客を図るため、広域的な取り組みが重要である。</li> <li>行政レベルでは広域の観光組織が発足しているが、民間との連携による相乗効果を図る必要がある。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>橋本地域は大規模製造業など、地域を牽引する産業に乏しく、小売業においても商圏外への消費の流出が顕著である。</li> <li>地場産業の振興、地域の活性化。</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国道371号橋本バイパスや京奈和道路の整備の遅れが橋本市全体の発展をはじめ地域産業の発展を阻害する要因となっている。幹線道路を早期に整備推進しなければならない。</li> </ul>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>橋本地域は古来より高野街道と大和(伊勢)街道の交差点であり、また紀の川の陸揚げ場でもあり、交通の要衝として多様な産業が発展してきたが、拠点となる施設がなく、観光入込客の誘致に効率的に結びつけられなかった。</li> <li>橋本は地域資源が多様小規模であり、また散在しているため、高野山観光等に向かう多くの観光客の通過点になっている。<u>地理的メリットを活かした集客策が必要である。</u></li> <li><u>免税で買物ができる店舗やお土産として魅力ある商品づくりなど、インバウンド客の嗜好やニーズに応えられるビジネスの創出が必要である。</u></li> <li>観光事業は一定のエリア、地域が連携して観光ルートをPRするなど総合的に集客を図るため、広域的な取り組みが重要である。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>橋本地域製造業は優れた技術力がありながら、知名度や営業力が弱い事業者の販路開拓を進め、個人の売上・収益の向上を図る必要がある。へら竿・パイル織物業共に海外の安価な製品との差別化を図ることが重要である。</u></li> <li><u>地場産業の伝統技術を維持するための後継者育成支援が必要である。</u></li> </ul> <p>③</p> <p><u>地域の小規模事業者の廃業率を下げ、小規模事業者への支援と新たな経営者層の創業の促進</u></p>

問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	<p>団体等のできるごと</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品において、目玉となる「ブランドアイテム」を作るため、商品開発と観光資源の発掘を行う。</li> <li>・加工品を核にした特産品販売と着地型観光、交通機能を有する先行施設をベンチマークするとともに橋本地域の地域資源を融合したビジネスモデルを構築する。</li> <li>・「マーチャンダイジング計画」「メニュー計画」「運営形態等の検討」「プロモーション方針」「オペレーション方針」等を具体化し、収益性が確保できるビジネスモデルの代替案を呈示する。</li> <li>・高野街道、伊勢街道、紀の川の結節点としての「神」「自然」「雅」「賑わい」の歴史と文化を活用した特産物販売と食旅観光の拠点施設開発に向けた調査研究を行う。</li> </ul> <p>②回答無し ③回答無し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業の需要動向調査、見本市・商談会などに、小規模事業者が自社の開発製品を出展する際、会場で行うニーズ調査、製品評価調査の企画と集計・分析を支援する。</li> <li>・新たな需要開拓に寄与する事業 商品・サービスのブラッシュアップ、販路拡大のための出展経費など、見本市・商談会等に出席しやすい環境づくり、他の商工会議所等とのマッチング商談会、企業間取引サイトの活用により販路拡大の支援を行い小規模事業者の売上増加や利益確保に貢献できる支援を行う。</li> <li>・特色ある一次産品など地域資源を活かした産業創出による地域の「にぎわい」を産みだし、地域経済の活性化に取り組む。</li> </ul>
	<p>行政に期待すること</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在整備中の国道 371 号から京奈和道橋本 I C の新国道沿いに広域観光における世界遺産高野山観光ルートの入口</li> <li>・立ち寄り所として「道の駅」を整備し、着地型観光のハブ機能をもたせることで、通過していた観光客等の消費者を吸引することに期待したい。</li> <li>・観光産業が主要な産業に育つよう、観光ビジョン構想に期待したい。</li> <li>・PR、観光ルートの整備、案内表示の設置をはじめ、観光誘導の受け皿や条件整備を期待したい。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域経済振興のため、地元建設事業者で施行可能な工事は、可能な限り地元で発注をお願いしたい。</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道路の早期整備促進のため、団体として出来る限り意識啓発に努めるなど対応を講じたい。</li> </ul>	<p>①大阪橋本道路の整備促進について</p> <p>京奈和自動車道路と近畿自動車道を繋ぐ大阪橋本道路は当地域のみならず和歌山県並びに関西経済の活性化に不可欠なルートであります。このことは既に近畿ブロック知事会策定の広域インフラデザインや関西広域連合の広域インフラマップに地域高規格道路として位置づけられていることから、大阪橋本道路計画における石仏から近畿自動車道間の整備の具体化に向けて、国土交通省や大阪府などに働きかけをお願いしたい。</p> <p>②橋本・河内長野間の整備促進について</p> <p>国道 371 号の大阪府河内長野市石仏から橋本市内国道 24 号に至る間の整備は、地域経済発展にとって、欠かすことの出来ないものです。</p> <p>(仮称)新紀見トンネルの工事着工、ならびに大阪府側区間(石仏バイパス)の整備を推進し、少しでも前倒しで完成されるよう、予算確保について関係先に対し引き続き働きかけをお願いしたい。</p> <p>③橋本一高野町間の改良と観光ルート化について</p> <p>橋本一高野町間沿線は、その大部分がすれ違い困難な一車線道路となっています。</p> <p>この沿線には玉川峡、やどり温泉の従来の観光スポットに加え、世界遺産に登録予定の黒河道のルートにも近く、こうした狭隘区間が解消されれば橋本市と高野山を結ぶ新たな観光ルートとすることができると考えます。引き続き、この区間の拡幅、二車線化についての道路整備にご努力頂くようお願いしたい。</p>

			<p>④橋本高野山道路の整備について 国土交通省近畿地方整備局の近畿・中部地域の幹線道路ネットワークにおいて既に重要な地域高規格道路候補路線となっている橋本高野山道路につきましては計画路線への格上げと早期の事業着手をお願いしたい。</p>
協働して取り組むこと		<p>① ・広く地域の商業者に経済効果を浸透させるため、物販や観光拠点の機能を有する施設を整備、運営する。 ・観光産業を地域産業の一つの柱として育てなければならない。市民の声を意見集約し、官民一体となって観光振興を推進していく。</p> <p>② ・総合的に集客を図るため、地域の様々な団地に呼びかけ、広域的な取り組みを進めていきたい。</p> <p>③ ・橋本伊都地方と大阪府を結ぶ幹線道路となる国道371号バイパスの早期完成、新紀見トンネルの早期着工について、国や大阪府に働きかける。 ・京奈和道路全線開通の早期実現について、国や関係府県に働きかける。 ・大阪都市圏と橋本市を結ぶ南海高野線について、阪神近郊の同程度の距離の地域に比べた「印象距離」を縮めるため、南海電鉄に更なる時間短縮を要望する。</p>	<p>①橋本・伊都地域の広域観光振興の整備について 広域観光振興組織設立支援について 橋本・伊都地域では、高野山開創1200年法会や関西オープンゴルフ選手権に続き、九度山町の関係するNHK大河ドラマ「真田丸」が放映され、この地域での観光入込客数を増やす好機が続いています。また橋本市では女性初の金メダリスト「前畑秀子」を主人公にしたNHK朝ドラの誘致活動を展開し、高野参詣道の一つである「黒河道」の世界遺産追加登録が予定されるなど橋本市を含めた広域で観光客誘致を進めていくことが求められています。さらに平成29年度以降も引き続き観光客を増やすためには官民が一体となって推進していくことが必要であり、橋本市を中心とした観光ビジネスの共同体(DMO)である(仮称)高野吉野路ツーリズムビューローの設立に向け取り組んでいます。既に活動している田辺市熊野ツーリズムビューローを先進的な事例として、(仮称)高野吉野路ツーリズムビューローが、滞在型観光の促進、外国語や絵文字による案内表示の刷新等、観光振興に向けた紀北地域の観光拠点として活動していけるよう、要望します。</p>

基本目標	第4章 活力ある産業を育成し若者が定住できるまちづくり
(基本施策)	(第2節 製造業の活性化を展開する)

団体名	高野口町商工会
-----	---------

項目		平成24年回答	平成28年回答
団体等が抱える問題点と課題		①地場産業（織物業関係）の衰退による、中小企業者の減少 ②事業主の高齢化等に伴う後継者問題	①地場産業（織物業関係）の衰退による、中小企業者の減少 ②事業主の高齢化等に伴う後継者問題
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるごと	①ゴミピットへの投入する繊維くずの裁断について、適切な手段を模索する。 ②回答無し	①回答無し ②回答無し
	行政に期待すること	① ・ゴミピットへの投入する繊維屑の裁断について、行政としても適切な手段を模索して欲しい。 ・地場産業である織物業の振興のため、一層の支援を期待する。 ・産業振興センターの整備について、既存施設の活用も含めて実現を期待する。 ②回答無し	①地場産業である織物業の振興のため、一層の支援を期待する。 ②回答無し
	協働して取り組むこと	①商工会は地元商工業者の現状をよく把握しており、市と商工会がより連携を深めていくことで、地元商工業者へのサービス向上と活性化に取り組んでいく。 ②回答無し	①商工会は地元商工業者の現状をよく把握しており、市と商工会がより連携を深めていくことで、地元商工業者へのサービス向上と活性化に取り組んでいく。 ②回答無し

基本目標	第4章 活力ある産業を育成し若者が定住できるまちづくり
(基本施策)	(第3節 商業をまちづくりとともに活性化させる)

団体名	高野口町商工会
-----	---------

項目	平成24年回答	平成28年回答
団体等が抱える問題点と課題	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型店舗等町内への進出による小売商店への影響。空き店舗対策等。ネットショップへの対応及び充実。</li> <li>・高野口駅前大通り及び商店街の活性化。</li> </ul> <p>②高野口の活性化に繋がる交通網。 (JR和歌山線と南海の相互乗り入れ等)</p> <p>③災害時における商工業者への支援</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型店舗等町内への進出による小売商店への影響。空き店舗対策等。ネットショップへの対応及び充実。</li> <li>・高野口駅前大通り及び商店街の活性化。</li> </ul> <p>②高野口の活性化に繋がる交通網。 (JR和歌山線と南海の相互乗り入れ等)</p> <p>③災害時における商工業者への支援</p>
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	<p>団体等のできるこ</p> <p>と</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物難民と呼ばれる人が増えている中で、商店街や大型店舗等が連携することで宅配等のサービスができるのではないかな。</li> <li>・商工会は地元との繋がりが密接で、機動力がある。「橋本市産業振興基本条例」に則り、市に協力していきたい。</li> </ul> <p>②回答無し</p> <p>③災害時に備えて、商工会独自でも対応できるような体制を作っていく。</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物難民と呼ばれる人が増えている中で、商店街や大型店舗等が連携することで宅配等のサービスができるのではないかな。</li> <li>・商工会は地元との繋がりが密接で、機動力がある。「橋本市産業振興基本条例」に則り、市に協力していきたい。</li> </ul> <p>②回答無し</p> <p>③災害時に備えて、商工会独自でも対応できるような体制を作っていく。</p>
	<p>行政に期待すること</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高野口は駅前に広い県道が通り、インフラ整備も進んでいる。商店街に限った活性化でなくとも、みんなが寄って生活できる場として、歩いて行ける範囲に商店、医療機関、金融機関、学校が揃っており、自然豊かで暮らしやすい街として高野口を住宅化してはどうか。そのために市として政策を期待する。</li> <li>・情報通信システムの技術躍進により自宅でも高速通信が可能となっている。ITセンターは拠点として必要か。現状は地場製品の販売が主となっているが、IT関連の施設として市の機構に組み込んで活用すればいいのではないかな。</li> </ul> <p>②回答無し</p> <p>③回答無し</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高野口は駅前に広い県道が通り、インフラ整備も進んでいる。商店街に限った活性化でなくとも、みんなが寄って生活できる場として、歩いて行ける範囲に商店、医療機関、金融機関、学校が揃っており、自然豊かで暮らしやすい街として高野口を住宅化してはどうか。そのために市として政策を期待する。</li> <li>・情報通信システムの技術躍進により自宅でも高速通信が可能となっている。ITセンターは拠点として必要か。現状は地場製品の販売が主となっているが、IT関連の施設として市の機構に組み込んで活用すればいいのではないかな。</li> </ul> <p>②回答無し</p> <p>③回答無し</p>
	<p>協働して取り組むこと</p> <p>①回答無し</p> <p>②高野口は広い駅前通りがあり身近に商店や学校、電車があって障がい者や高齢者にとって住みやすい町となる要素が揃っている。高野口の活性化に繋げるためにJRと南海電車の相互乗り入れを働きかける。</p> <p>③回答無し</p>	<p>①回答無し</p> <p>②高野口は広い駅前通りがあり身近に商店や学校、電車があって障がい者や高齢者にとって住みやすい町となる要素が揃っている。高野口の活性化に繋げるためにJRと南海電車の相互乗り入れを働きかける。</p> <p>③回答無し</p>

基本目標	第4章 活力ある産業を育成し若者が定住できるまちづくり
(基本施策)	(第4節 観光・交流基盤を確立する)

団体名	橋本市観光協会
-----	---------

項目	平成24年回答	平成28年回答	
団体等が抱える問題点と課題	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期事業計画の作成</li> <li>・協会の経営基盤を確立するため、より中長期的かつ戦略的な事業計画と実施が必要。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政基盤の確立</li> <li>・運営財源として、会費、補助金、委託金が主なものであり、安定的な運営資金の確保が必要</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人的基盤の強化</li> <li>・職員3名（うち臨時2名）体制で運営しているが、営業力の強化等に必要の人材等、観光振興のためには人員投入が必要。</li> </ul>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期事業計画の作成</li> <li>・協会の経営基盤を確立するため、より中長期的かつ戦略的な事業計画と実施が必要。</li> </ul> <p>②法人化とともに、旅行業を取得し、財政強化の一助とすべく、宿泊所等の斡旋を開始する。</p> <p>③案内所と振興事業の業務分担を明確化する。</p> <p>④インバウンド対応人材の確保。</p>	
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるこ	<p>①広域観光や本市観光資源を組み合わせることにより、マスコミやエージェント、もしくは口コミで興味を持って頂き、市及び協会会員の利益が最大となる商品造成を戦略的に提案していく。</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協会加入のメリットをPRし会員数の増加を図る。</li> <li>・地場製品の販売強化を図る。</li> </ul> <p>③職員の能力強化を図るとともに、各協会会員の「強み」を活用した観光振興策を展開する。</p>	<p>①広域観光や本市観光資源を組み合わせることにより、マスコミやエージェント、もしくは口コミで興味を持って頂き、市及び協会会員の利益が最大となる商品造成を戦略的に提案していく。</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協会加入のメリットをPRし会員数の増加を図る。</li> <li>・地場製品の販売強化を図る。</li> </ul> <p>③職員の能力強化を図るとともに、各協会会員の「強み」を活用した観光振興策を展開する。</p>
	行政に期待すること	<p>①観光資源の洗い出しを行い、目的や目標を明確にした戦略的かつ中長期的な計画のもと、観光基盤整備を行っていただきたい。</p> <p>②事業展開に必要な補助金の投入。</p> <p>③人材確保や育成に必要な補助金の投入。</p>	<p>①公共交通機関との連携のため定期的な橋渡し機会を持つ企画を期待。</p> <p>②はしもとブランド推進室との連携事業企画を期待。</p>
	協働して取り組むこと	<p>①広域観光の拡大にむけた連携強化や共同でのプロモーション活動の実施。</p> <p>②県や国の補助金獲得に向けて連携を強化する。</p> <p>③協会と行政の各々の役割を理解し、連携を強化する。</p>	<p>①広域観光の拡大にむけた連携強化や共同でのプロモーション活動の実施。</p> <p>②県や国の補助金獲得に向けて連携を強化する。</p> <p>③協会と行政の各々の役割を理解し、連携を強化する。</p>

基本目標	第5章 個性ある人と文化を育むまちづくり
(基本施策)	第2節 生涯学習社会を形成する)

団体名	橋本市スポーツ少年団
-----	------------

項目		平成 24 年回答	平成 28 年回答
団体等が抱える問題点と課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>①体力の低下。</li> <li>②スポーツ人口の減少。</li> <li>③社会貢献活動の推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①団員の減少</li> <li>②社会貢献活動の推進</li> </ul>
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできること	<ul style="list-style-type: none"> <li>①競技指向ではなく、団員の基礎体力向上を図るプログラムを取り入れる。</li> <li>②スポーツ少年団活動の充実、スポーツの普及・振興を図る。</li> <li>③団の年間事業計画に組み入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①スポーツ少年団活動の充実。</li> <li>②団の年間事業計画に組み入れる。</li> </ul>
	行政に期待すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>①スポーツ施設・器具は無償使用とする。</li> <li>②市広報誌へ活動情報の掲載、市内学校へのPR活動を行う。</li> <li>③学校行事に社会貢献活動を計画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①市広報誌へ活動情報の掲載、市内学校へのPR活動を行う。</li> <li>②学校行事に社会貢献活動を計画する。</li> </ul>
	協働して取り組むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>①最近の研究結果で体力と学力の相関関係が分かってきた。学校で毎日30分スポーツ活動を行う。</li> <li>②スポーツイベントの共催、学校で団活動を紹介する。</li> <li>③学校の休日には、合同で社会貢献活動を行い、地域で多世代交流、青少年の健全育成に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①スポーツイベントの共催、学校で団活動を紹介する。</li> <li>②学校の休日には、合同で社会貢献活動を行い、地域で多世代交流、青少年の健全育成に取り組む。</li> </ul>

基本目標	第5章 個性ある人と文化を育むまちづくり
(基本施策)	(第2節 生涯学習社会を形成する)

団体名	橋本市子ども会連絡会
-----	------------

項目		平成 24 年回答	平成 28 年回答
団体等が抱える問題点と課題		<p>①少子高齢化、塾や社会体育活動への参加、ゲーム等の普及により子ども会活動に参加する子どもが減っている。</p> <p>②子どもの参加が減っていることに加え、親の多忙化、個人主義の浸透により子ども会の保護者の組織化が困難になっている。</p>	<p>①少子高齢化、塾や社会体育活動への参加、ゲーム等の普及により子ども会活動に参加する子どもが減っている。</p> <p>②子どもの参加が減っていることに加え、親の多忙化、個人主義の浸透により子ども会の保護者の組織化が困難になっている。</p>
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるこ と	<p>①子どもをひきつける魅力ある子ども会活動の創造に努める。</p> <p>②全国子ども会連絡会への加入により子ども会活動の安全を担保し、親の意識を高めるための研修活動を充実させる。</p>	<p>①子どもをひきつける魅力ある子ども会活動の創造に努める。</p> <p>②子ども会加入のメリット（親同士のネットワークを高め、子育ての相談や軽減等）を発信することにより、親の意識を高めていく。</p>
	行政に期待するこ と	<p>①子ども会専任担当職員の配置すること。</p> <p>②子ども会専任担当職員の配置すること。</p>	<p>①魅力ある子ども会活動を促していく。</p> <p>②子ども会の事務手続きにおける負担軽減化を推進していく。</p>
	協働して取り組むこ と	<p>①地区公民館を拠点として、子ども会、公民館と青年リーダーと協働して地域の子どもの健全育成活動をすすめる。</p> <p>②地区公民館を拠点として、子ども会、公民館と青年リーダーと協働して地域の子どもの健全育成活動をすすめる。</p>	<p>①地区公民館を拠点として、子ども会、公民館と青年リーダーと協働して地域の子どもの健全育成活動をすすめる。</p> <p>②地区公民館を拠点として、子ども会、公民館と青年リーダーと協働して地域の子どもの健全育成活動をすすめる。</p>

基本目標	第5章 個性ある人と文化を育むまちづくり
(基本施策)	(第2節 生涯学習社会を形成する)

団体名	橋本市青年指導員連絡会
-----	-------------

項目		平成 24 年回答	平成 28 年回答
団体等が抱える 問題点と課題			紀北青少年の家のような施設が橋本市にないため、他の団体との調整により希望する日程において、活動が出来ない状況にある。
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできる こと		遠方に出向き活動を行っている。その分、移動時間に本来出来るプログラムが縮小傾向にある。また参加者においても大きな負担となっている。
	行政に期待 すること		橋本市において、青少年が活動出来る施設を提供して頂きたい。
	協働して 取り組む こと		旧西部中学校を再利用した施設展開をすることにより協働した取り組み（清掃活動・災害訓練）を行う。

基本目標	第5章 個性ある人と文化を育むまちづくり
(基本施策)	(第2節 生涯学習社会を形成する)

団体名	橋本市家庭教育支援チームヘスティア
-----	-------------------

項目		平成 24 年回答	平成 28 年回答
団体等が抱える 問題点と課題			家庭部門の活動を行う上で、園や学校との連携が難しい。
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるこ と		活動内容のわかりやすいチラシ作り。
	行政に期待するこ と		福祉部門・教育部門が連携しながらニーズを掘り起こすこと。
	協働して取り組むこ と		パンフレットの作成。ホームページの充実。

基本目標	第5章 個性ある人と文化を育むまちづくり
(基本施策)	(第2節 生涯学習社会を形成する)

団体名	橋本市青少年団体連絡協議会
-----	---------------

項目		平成24年回答	平成28年回答
団体等が抱える問題点と課題		加盟団体の人数減少。	加盟団体の人数減少。
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるこ と	自己PR、募集活動。	自己PR、募集活動。
	行政に期待するこ と	市の広報にもっと各活動内容を載せてもらえないでしょうか？	7月の河川愛護月間を実施している「ラブリバークリーン大作戦」を橋本市主催で実施して欲しい。
	協働して取り組むこ と	市のホームページからリンクを貼ってもらおう。	「ラブリバークリーン大作戦」を橋本市が主催して、橋本市青少年団体連絡協議会が協力団体として協働で取り組むのが理想の形であると思う。

基本目標	第5章 個性ある人と文化を育むまちづくり
(基本施策)	(第4節 人権尊重の社会を実現する)

団体名	橋本市人権啓発推進連絡協議会
-----	----------------

項目		平成 24 年回答	平成 28 年回答
団体等が抱える問題点と課題		委員の任期が2年間であるため、交代時に前任者からの引継が難しい。また、適任な市民を確保することが難しい。	橋本市人権啓発推進委員が当連絡協議会の委員を兼務しており、現在、委員数は81名である。 活動内容が市民に浸透していない。
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできるこ と	熱意のある人材を確保する必要がある。	橋本市人権啓発推進委員会と連携し、市民参加による人権啓発の推進を図ります。
	行政に期待するこ と	市民に対する啓発の取り組みをもっと広報して欲しい。	当連絡協議会が行っている啓発の取り組みを市民に対し、広報してもらいたい。
	協働して取り組むこ と	普段より取り組んでいる地道な活動を市民にアピールする方法を検討する。	普段から地道に啓発活動に取り組んでいるが、市と共同して啓発に取り組み、当連絡協議会の活動を浸透させていきたい。

基本目標	第5章 個性ある人と文化を育むまちづくり
(基本施策)	(第5節 男女共同参画の社会を実現する)

団体名	橋本市女性会議
-----	---------

項目	平成 24 年回答	平成 28 年回答
団体等が抱える問題点と課題	女性会議加入各団体については、団体の加入者の高齢化が進むと共に、昨今の社会情勢の変化により特に若い世代の加入が少なくなっており、後継者不足の問題が顕著になっている団体が多い。	現在、女性会議には 11 団体が加入している。しかし、新たな女性団体の加入予定もなく、また、各加入団体においても若い会員の加入が少なく、後継者不足が深刻となっている。
問題点・課題の解決に向けた取り組み内容	団体等のできること	活動や実践の内容をPRし、新たな女性団体が加入しやすい体制づくりに努める。各加入団体間の連携を強め、女性の地位向上と福祉の増進を図るため、啓発活動や講演会等に参加することに努める。
	行政に期待すること	団体の活動等について、機会を捉えてパンフレット・チラシ等を配布するなど、団体のPRに協力して欲しい。団体育成のための補助金の増額をお願いしたい。
	協働して取り組むこと	市の事業で、自分たちの団体活動と関連のあるものであれば、声をかけていただければ、可能な範囲で協力します。
		市が行う事業で、当会議の目的や活動と関連があるもの、女性団体の育成に必要なもの等要請があれば積極的に協力していきます。